



HIV検査体制の構築に関する研究班  
The Study Group on the Development of HIV Testing Systems  
http://www.hivkanso.com  
主任研究員 今井 光昌 (神奈川県健康安全研究所)

## 保健所等における HIV即日検査のガイドライン

第2版 (平成17年3月)

第1版 (平成16年3月)  
第2版 (平成17年3月)

### 利用される箇条へ

本ガイドラインは、国立保健医療科学院による「HIV検査体制の構築に関する研究」班のガイドライン作成委員会が、平成16年版のガイドラインの総論・概論部分の充実を図り、より実用的なガイドラインとなるよう平成17年3月に改訂した第2版です。  
今後改訂すると思われる場合は、関係機関との意見交換を行い、随時改訂版を作成・公表する予定です。

HIV検査体制  
研究班

## HIV即日検査の普及

### ーガイドラインの配布と研修ー

#### <配布先>

- ◆ 都道府県、政令指定都市等  
自治体HIV担当主管課
- ◆ 保健所
- ◆ 衛生研究所
- ◆ ブロック拠点病院 計 1155箇所

#### <即日検査研修会>

- ◆ 国立保健医療科学院 エイズ対策研修
- ◆ エイズ予防財団 HIV検査相談研修
- ◆ 神奈川県、北海道、埼玉県等自治体
- ◆ 国立病院機構九州医療センター

図6

## 保健所等におけるHIV即日検査の普及

HIV検査体制  
研究班

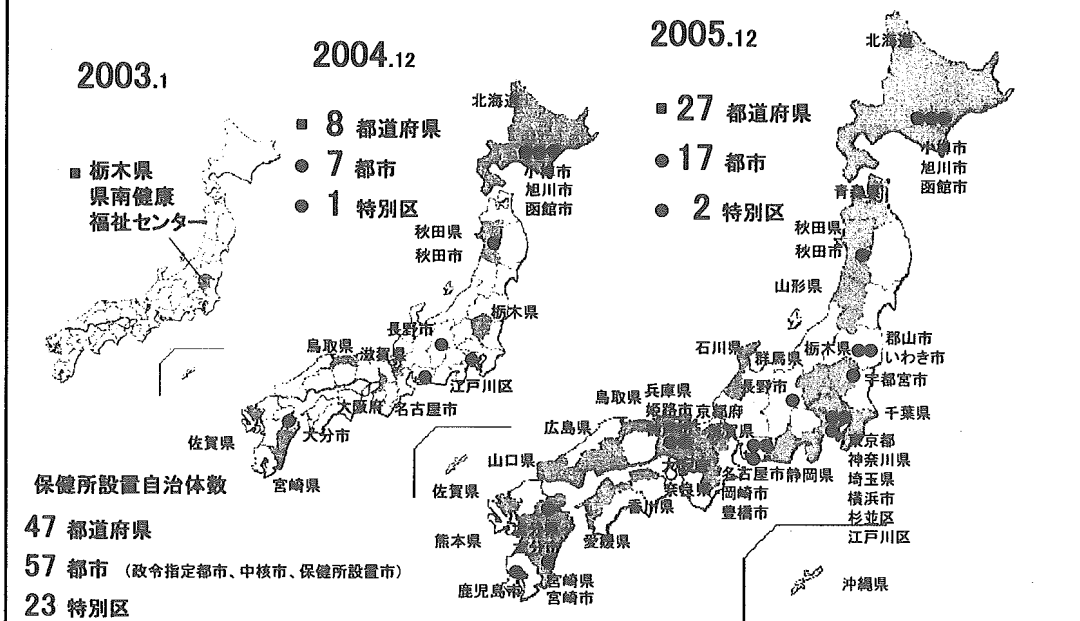
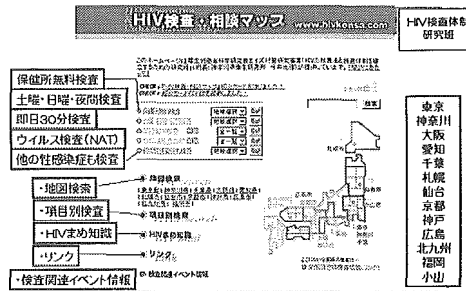


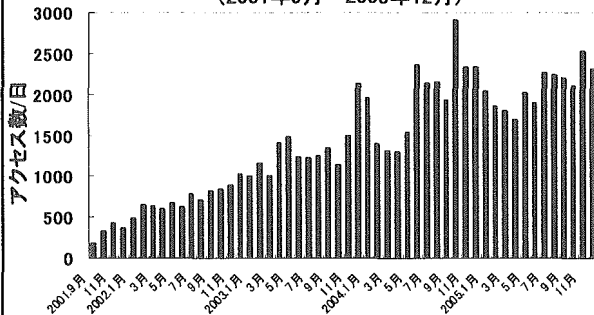
図7

ホームページ  
HIV検査・相談マップ  
<http://www.hivkensa.com>

2005年12月現在 2001年9月からの  
1日平均アクセス数 合計アクセス数  
約2000件/日 200万件



月別 1日平均アクセス数  
(2001年9月～2005年12月)



年別合計アクセス数

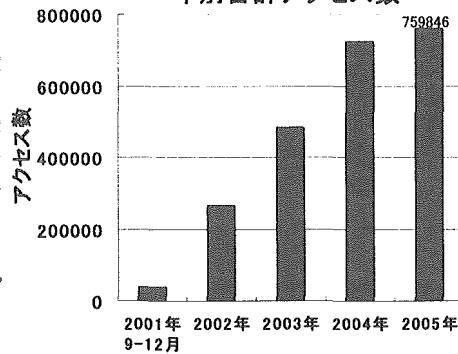
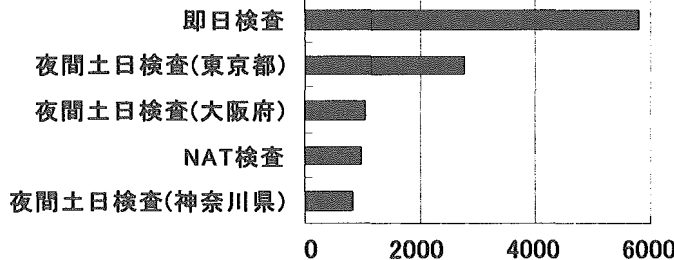
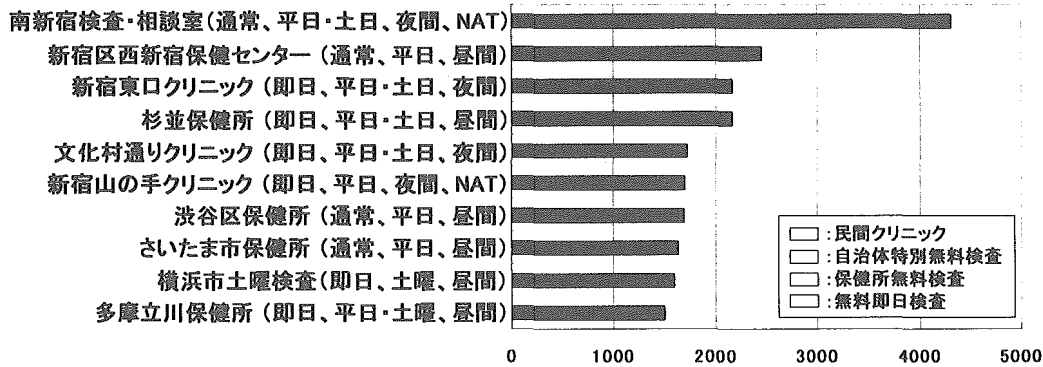


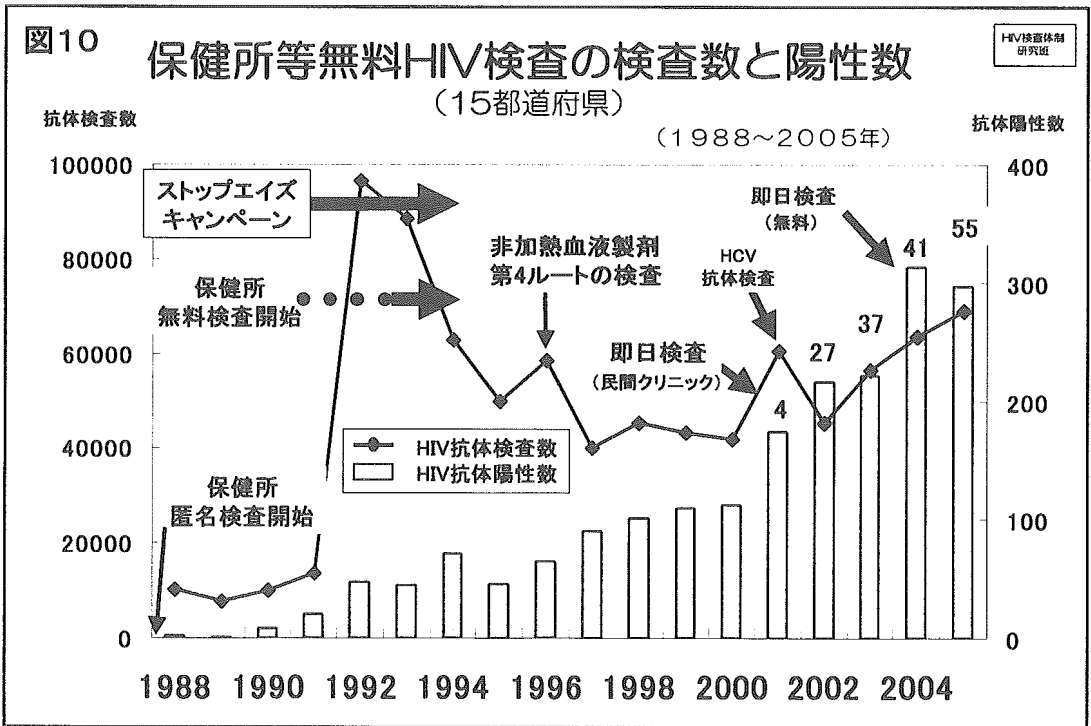
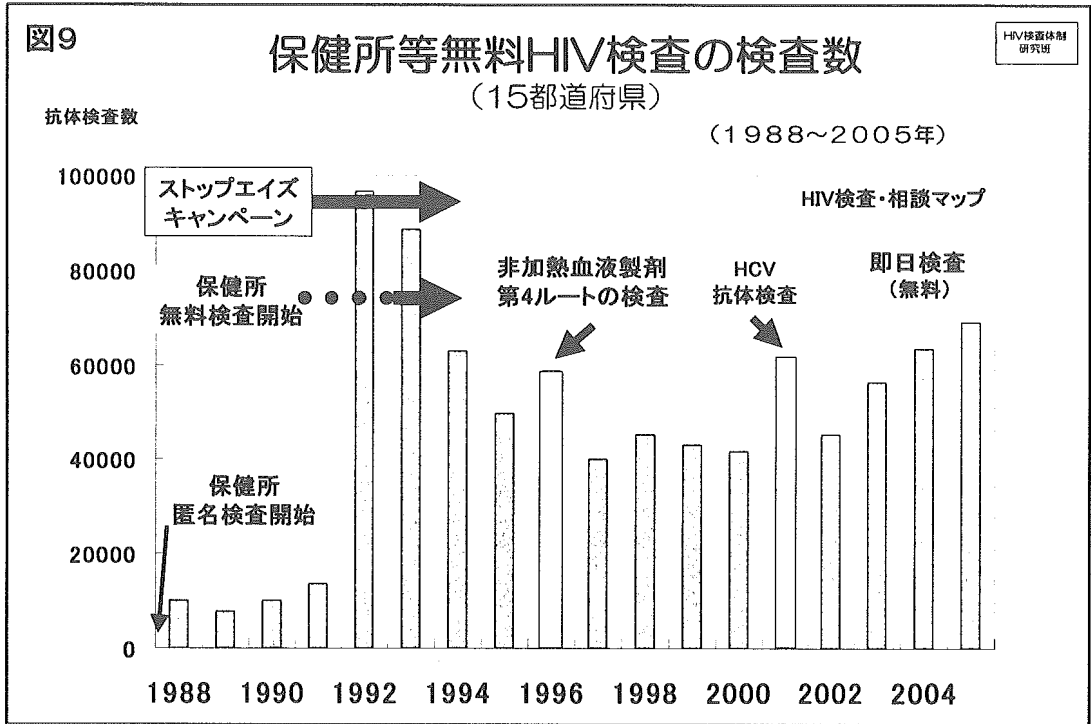
図8

各カテゴリーへのアクセス数 (2005年12月分)



詳細ページアクセス数 (2005年12月分)





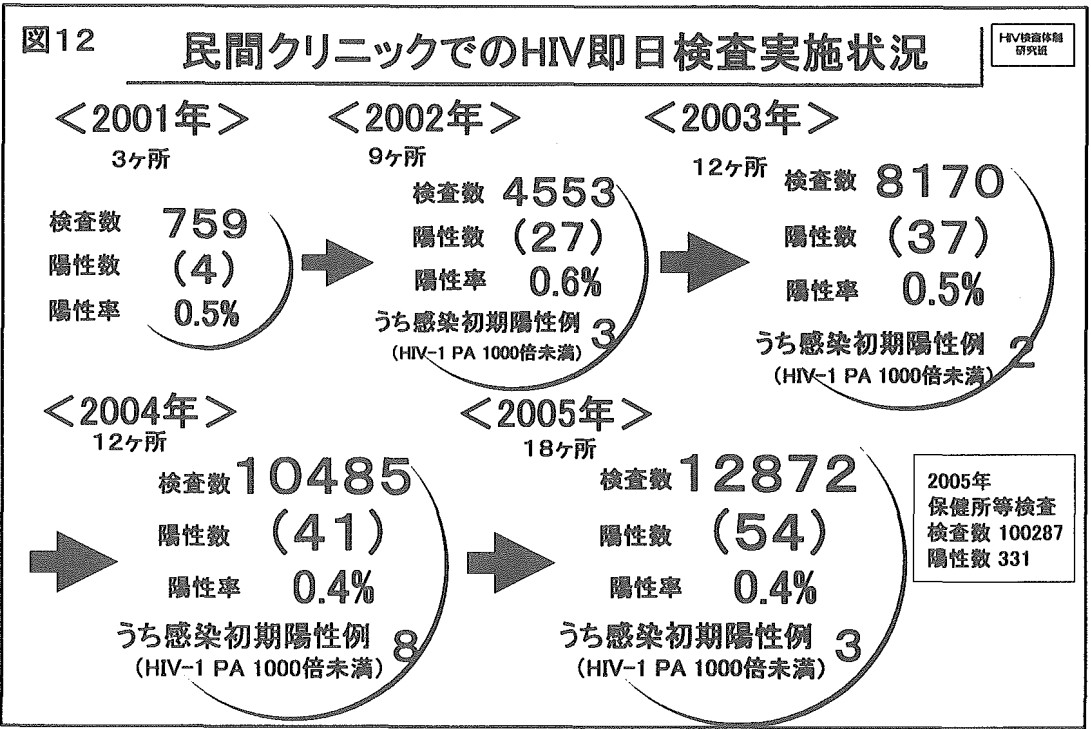
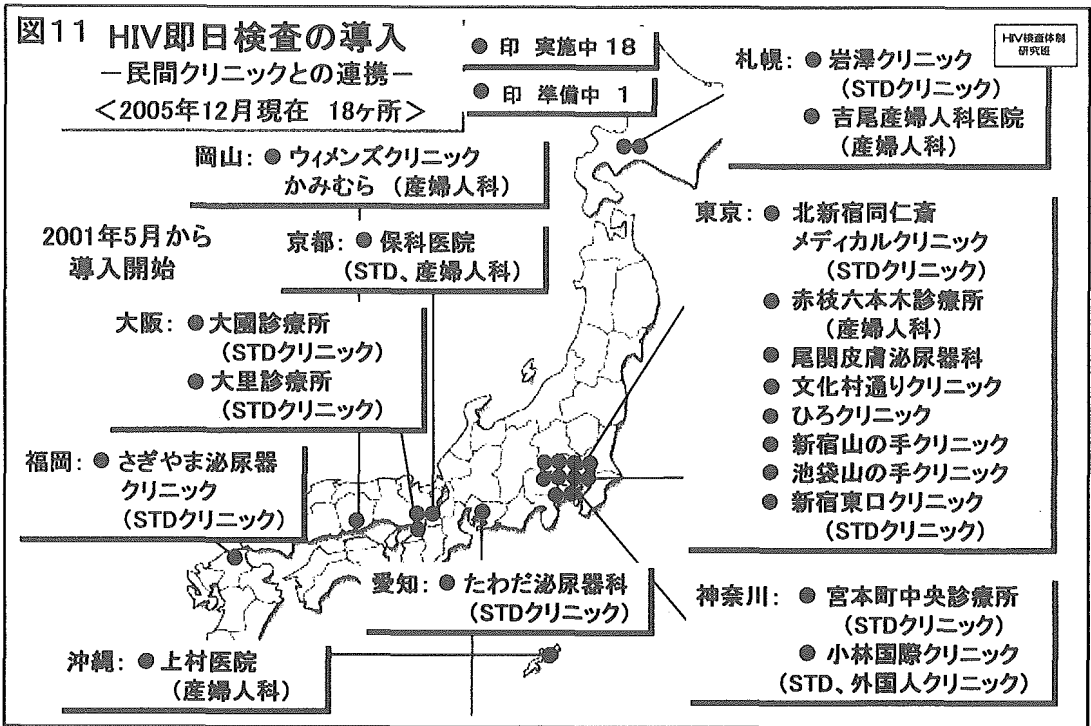


図13

血液の安全性確保対策(ドナースクリーニング)

HIV検査体制  
研究班

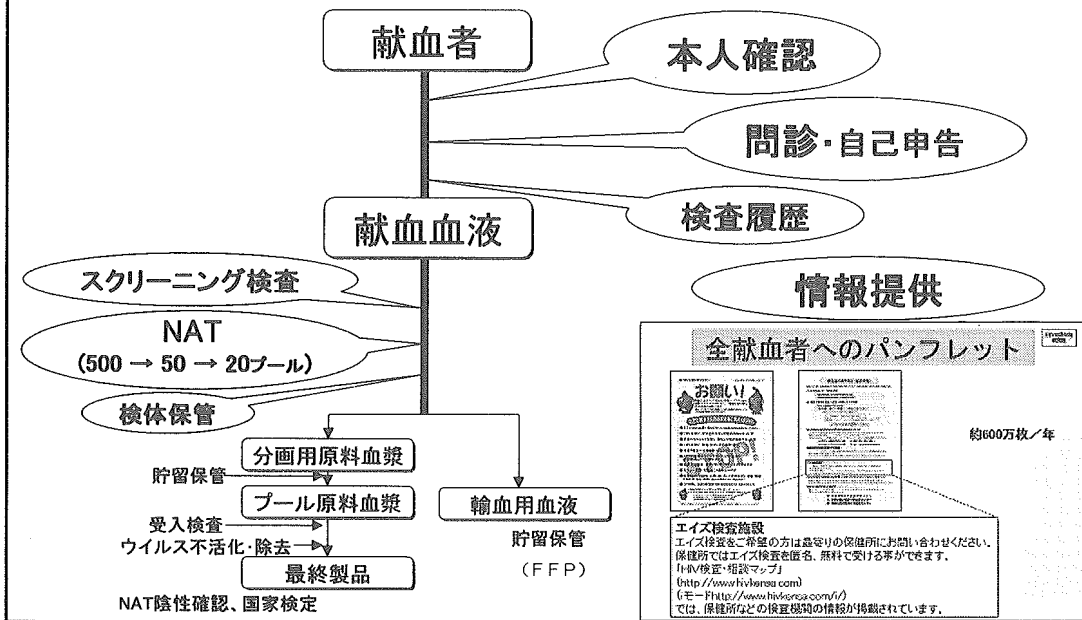


図14

HIV検査体制  
研究班

問診13番で「はい」と回答した人の受付者数  
に対する割合

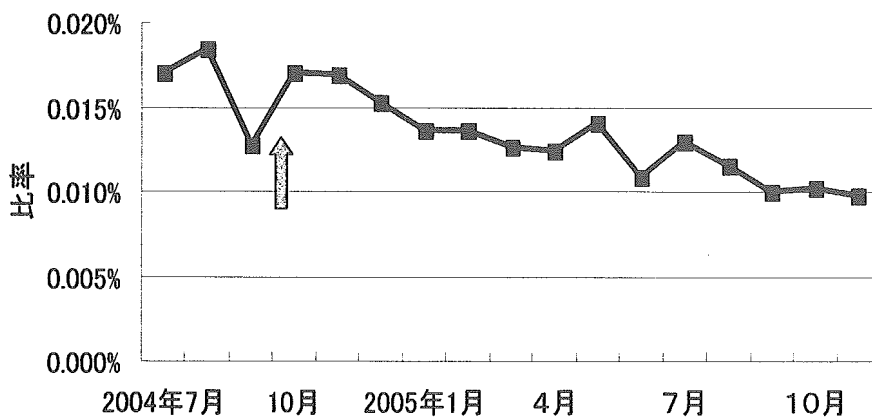


図15

HIV検査体制  
研究班

### 献血者のNAT陽性数

期間： 1999.7.1～2004.12.31

検体検査数： 28,971,132

ウイルス	陽性数	ウインドウ期
HBV	524 (1例/5.6万検体)	59 → 34 日
HCV	82 (1例/34万検体)	82 → 23 日
HIV	10 (1例/300万検体)	22 → 11 日

1999.7 500 本プール 2000.2. 50 本プール 2004.9 20 本プール

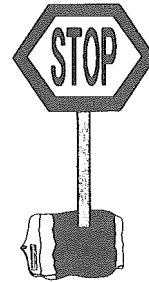


図16

HIV検査体制  
研究班

### 献血血液のHIV検査（抗体とNATの陽性数）

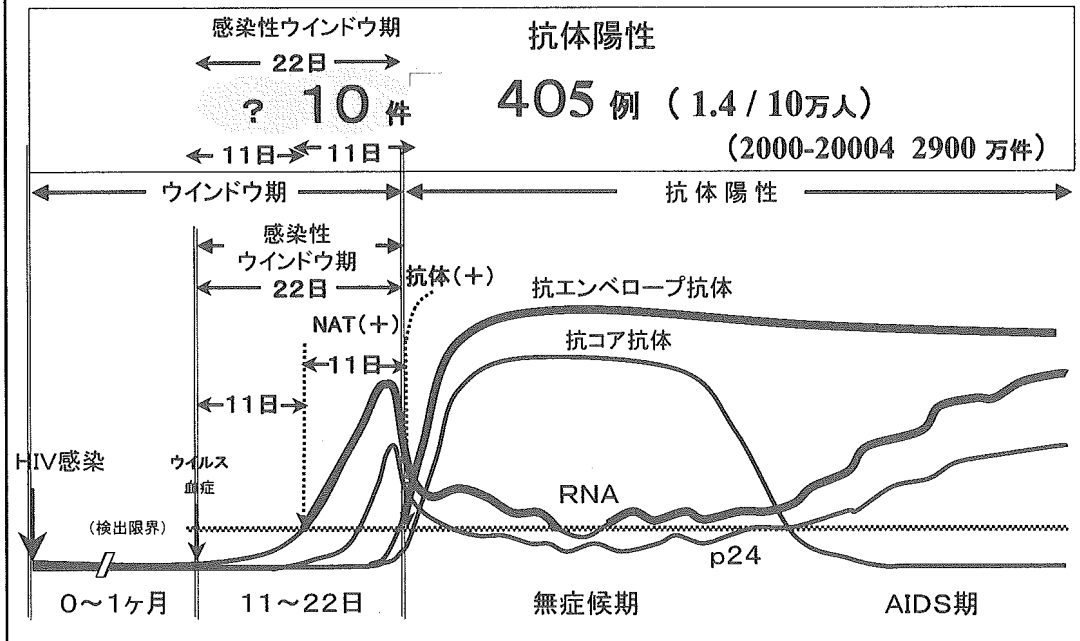




図17

## HIV検査陽性の献血事例 (B)

HIV検査体制  
研究班

2004.8. 献血 PA(-), NAT(20pool) 陽性  
男性 30歳代 (献血歴 3回)

### 経過

2年前(前回) 400mL献血 PA(-)

3日前 38.5°C発熱 近医受診 投薬  
2日前 前胸部、背部に発疹、皮膚科受診

2004.8. 200mL献血 PA(-), NAT(20pool) 陽性  
( $1.5 \times 10^5$  copy / mL)

翌日 保健所にてHIV検査

1週後 頭痛出現、夜増強し、緊急外来受診し、入院。

図18 中間評価コメント

3. HIV/AIDSがなぜ増えているのか。

HIV検査体制  
研究班

疑問・改善の指摘事項 検査介入時期を問題とする時期に来ているのでは？

### 検査を受ける時期

従来： 3ヶ月経ってから検査を...

新しい検査相談の  
ガイドラインでは、



心配があればまず検査相談を...

(必要があれば3ヶ月以上経ってからの再検査を)

図19

Q. HIV感染があったと思われる時期は？

HIV検査体制  
研究班

HIV即日検査アンケート集計結果

<栃木県南健康福祉センター 2004年>  
(回答者数:675名)

<北新宿同仁齋メディカルクリニック 2004年>  
(回答者数:324名)

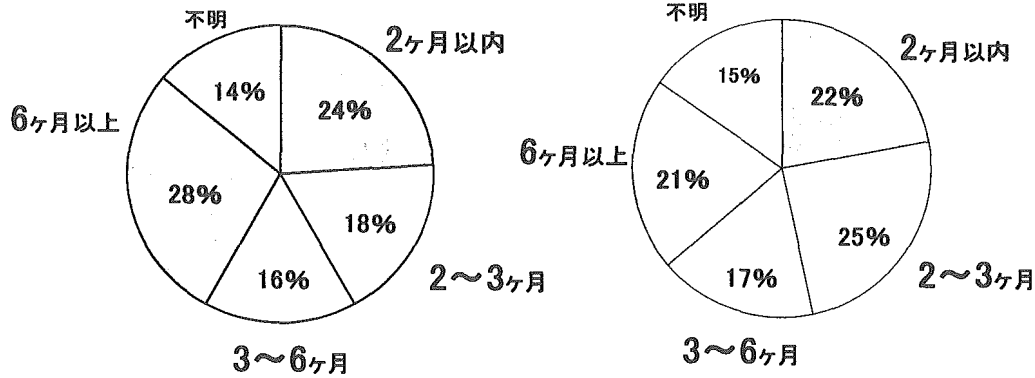


図20

感染初期症例

EIA,PA(+),WB,IC(-),PCR(+)

① 19歳 男性  
 検査データ:ELISA(エンザイグノスト) (+) 0.626/0.476  
 ELISA(ジェンスクリーン) (+) 3.107/0.178  
 PA法 (+) 128倍 イムノクロマト法 (-)  
 WB法 HIV-1(-), HIV-2(±)  
 PCR(+) >7.5 × 10<sup>5</sup> copies/ml  
 背景: 7月16日に感染機会 8月初旬に39°C発熱 1週間、  
 リンパ腫脹  
 8月11日 心配で検査受診  
 <<感染機会から1ヶ月弱>>  
 東京でのHIV検査相談 (2004.6-2005.8)  
 18,771 例中 陽性例 170 (0.9%)  
 (WB 陰性1 保留11 陽性 158)  
 - 2例はイムノクロマト陰性 -

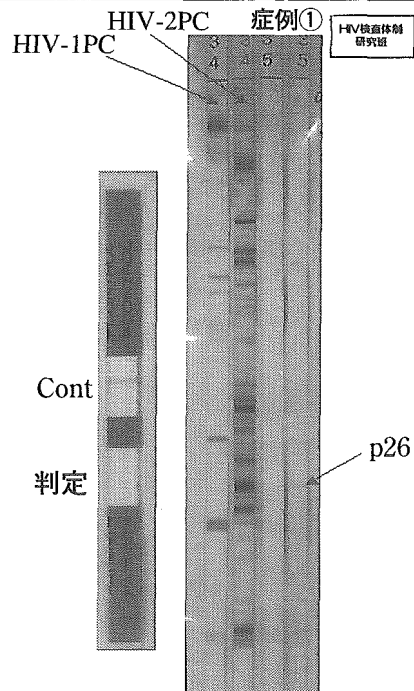
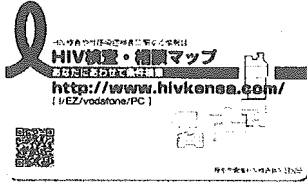


図21

# HIV検査・相談マップ紹介カード

HIV検査体制  
研究班



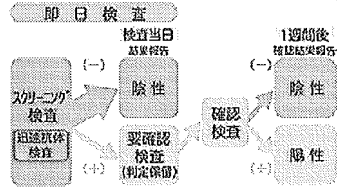
## <即日検査紹介カード>

### HIVまめ知識

#### “HIV即日検査”もやっています～。

即日検査とは、迅速検査キットを用いて、検査当日にスクリーニング検査結果をお知らせする検査法です。

HIV抗体迅速検査キットは、通常の抗体検査キットとほぼ同じ性能ですが、あくまでスクリーニング検査法の一つです。迅速検査で陰性の場合には、結果は陰性として確定します。しかし、迅速検査で陽性の場合には、異なる方法を用いた確認検査が必要となります。そのため、後日(通常1週間後)、改めて確認検査の結果を聞きに行くことが必要となります。



即日検査に関する詳しい検査情報等は...

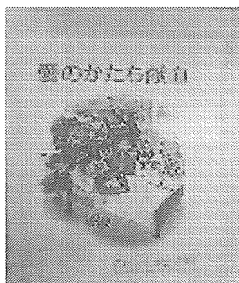
<http://www.hivkensa.com>

図22

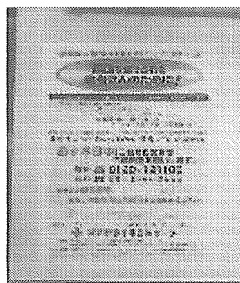
# 献血者への情報提供 HIV検査・相談マップ

HIV検査体制  
研究班

このホームページは、厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業  
「HIV検査体制の構築に関する研究班」  
(班長：神奈川県衛生研究所 今井光信先生) が提供しています。



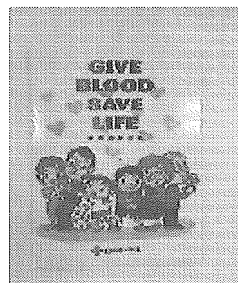
約20万部/年



約600万枚/年



約40万部/年



約60万部/年

図23

# 全献血者へのパンフレット

HIV検査体制  
研究班

約600万枚/年

献血にご協力いただきありがとうございます。

## 輸血を受けられる 患者さんのために！

この1年間に次のいずれかに該当することがあった方は献血はご遠慮ください。

- ① 不特定の異性と性的接触をもった。
- ② 男性の方で他の男性と性的接触をもった。
- ③ エイズ検査（HIV検査）で陽性とされた。
- ④ 麻酔・覚せい剤を注射した。
- ⑤ 1～4に該当する者との性的接触をもった。

献血された血液は翌日には即座に使用されますので、献血や献血をひかした上で、上記①から⑤のいずれかに該当していた場合は、

**必ず本月中にあなたの声で**

ご連絡をお願いします。

0120-202193（無料）

または、045-862-4114

あなたの献血番号  と、

あなたの生年月日の両方をお知らせ下さい。

ご不明な点やご質問がございましたら、下記にまでお問い合わせください。また、献血された血液が患者さんに使用されるまで、献血者の方には献血の事実が知らされず、また、献血者の方には献血の事実が知らされず、また、献血者の方には献血の事実が知らされず、

神奈川県赤十字血液センター  
神奈川県川崎市川崎区神奈川赤十字血液センター

（参考）血液センターでは、エイズ検査目的の献血はお断りしています。

HIV検査・相談マップ（[www.hivkensa.com](http://www.hivkensa.com)）  
ホームページは、厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業「HIV検査体制の構築に関する研究班」（班長：神奈川県衛生研究所 今井光信先生）が提供しています。

## HIV検査・相談マップ

([www.hivkensa.com/](http://www.hivkensa.com/))

(iモード [www.hivkensa.com/i/](http://www.hivkensa.com/i/))

このホームページは、  
厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業  
「HIV検査体制の構築に関する研究班」  
(班長：神奈川県衛生研究所 今井光信先生)  
が提供しています。

図24

# 全献血者へのパンフレット

HIV検査体制  
研究班

約600万枚/年

**お願い!**

献血された血液は翌日には即座に使用されますので、献血や献血をひかした上で、上記①から⑤のいずれかに該当していた場合は、必ず本月中にあなたの声でご連絡をお願いします。

**HIV検査・相談マップ** ([www.hivkensa.com](http://www.hivkensa.com))  
ホームページは、厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業「HIV検査体制の構築に関する研究班」（班長：神奈川県衛生研究所 今井光信先生）が提供しています。

**献血者の皆さまへ（重要事項）**

献血された血液は翌日には即座に使用されますので、献血や献血をひかした上で、上記①から⑤のいずれかに該当していた場合は、必ず本月中にあなたの声でご連絡をお願いします。

**HIV検査・相談マップ** ([www.hivkensa.com](http://www.hivkensa.com))  
ホームページは、厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業「HIV検査体制の構築に関する研究班」（班長：神奈川県衛生研究所 今井光信先生）が提供しています。

## エイズ検査施設

エイズ検査をご希望の方は最寄りの保健所にお問い合わせください。

保健所ではエイズ検査を匿名、無料で受ける事ができます。

「HIV検査・相談マップ」

(<http://www.hivkensa.com>)

(iモード <http://www.hivkensa.com/i/>)

では、保健所などの検査機関の情報が掲載されています。

図25

## 献血のHIV検査陽性件数の推移

HIV検査体制  
研究班

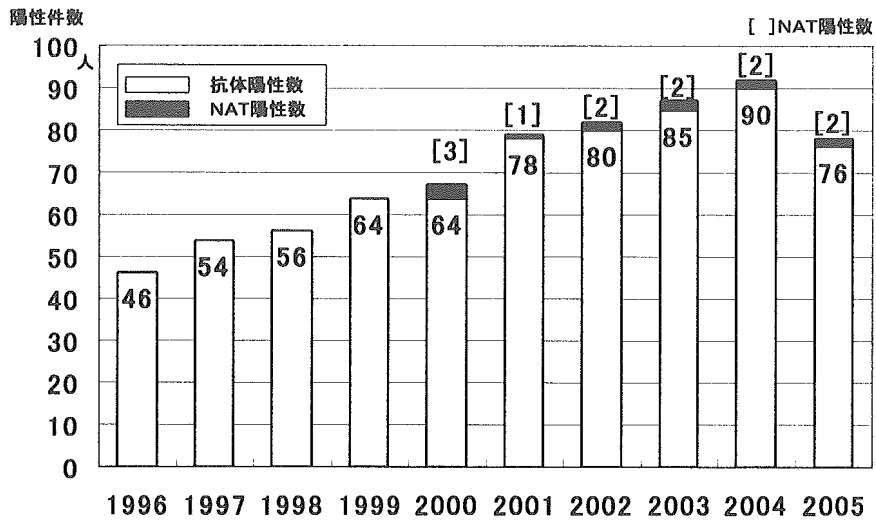


図26

## HIV検査陽性献血者の動向

HIV検査体制  
研究班

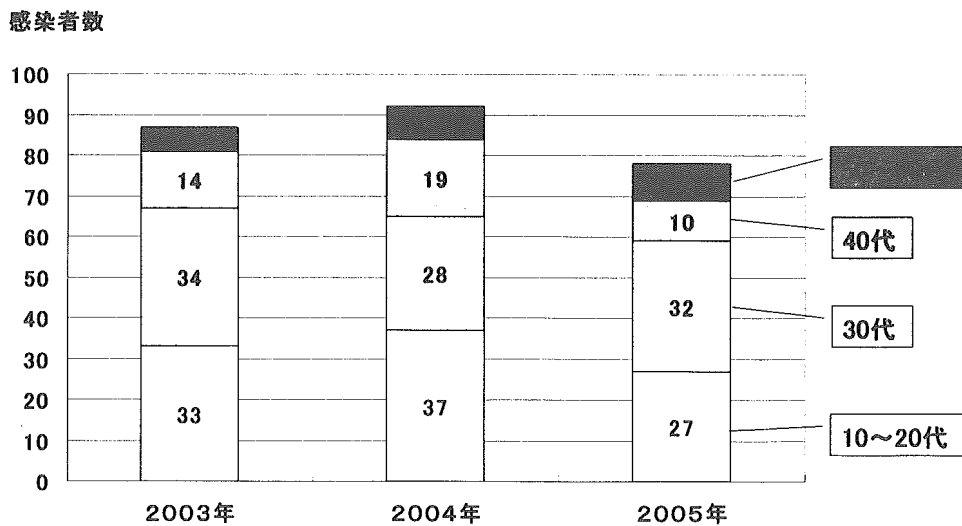


図27

## 献血者におけるHIV感染者の動向

HIV検査体制  
研究班

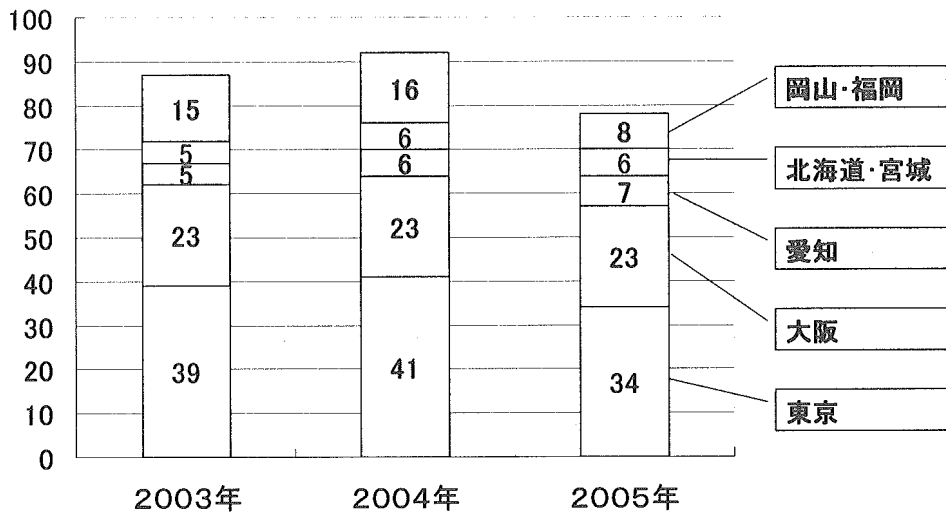


図28

## HIV検査陽性献血者の動向

HIV検査体制  
研究班

感染者数

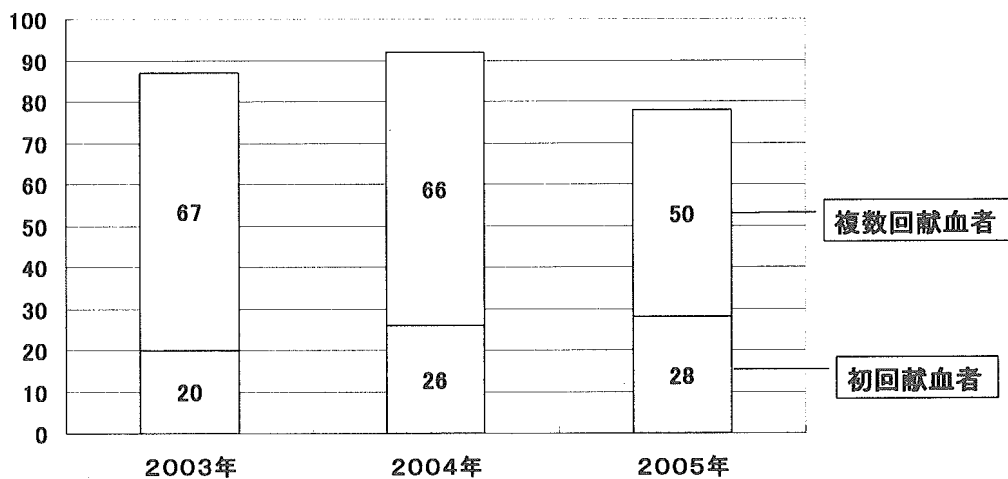


図29

### HIV感染者報告数とHIV検査陽性数の推移

HIV検査体制  
研究班

(1997~2005)

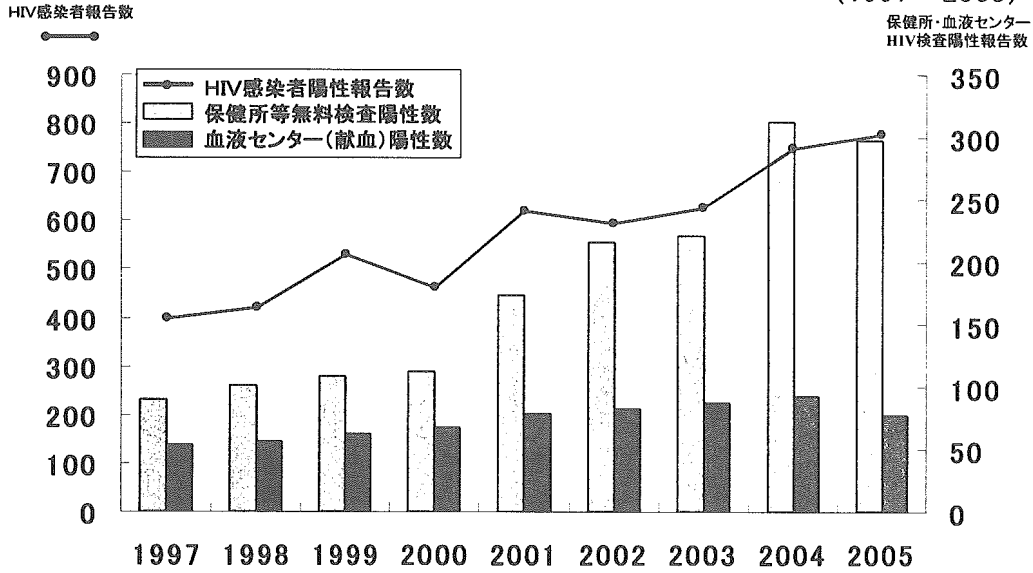


図30

### 保健所等無料HIV検査の陽性数と陽性率

HIV検査体制  
研究班

(2005年 都府県別)

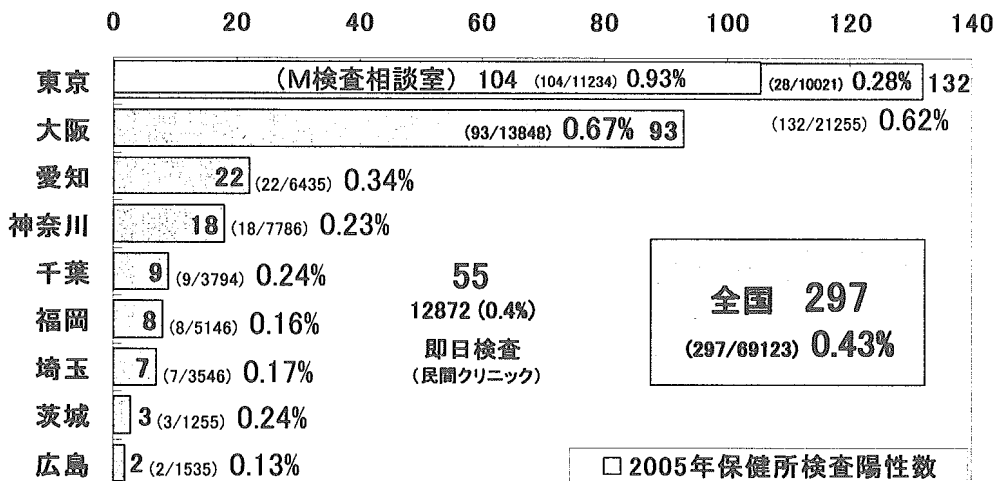


図31

HIV検査体制  
研究班

保健所等HIV無料検査における陽性数の推移

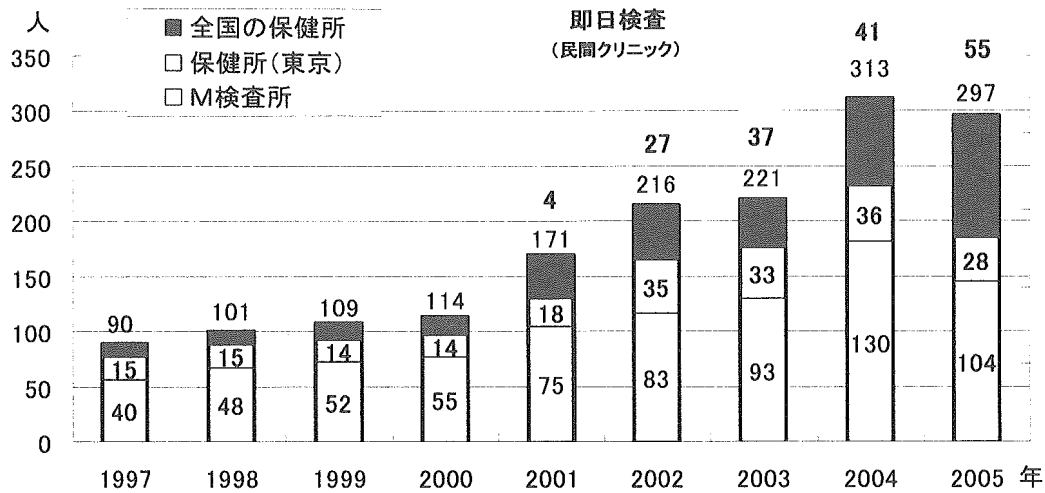


図32

HIV検査体制  
研究班

T地域のHIV検査数と陽性数

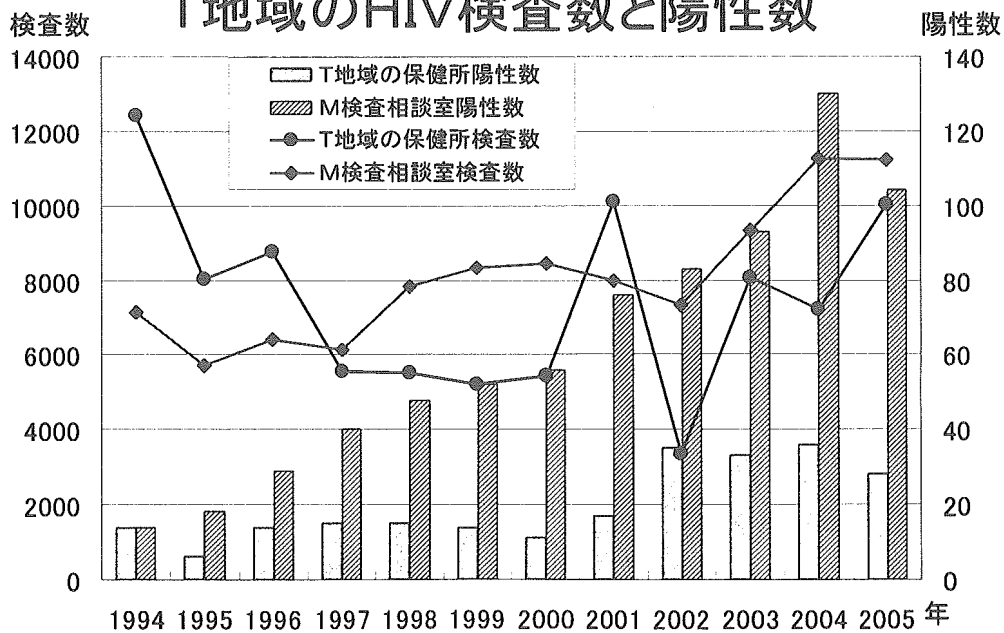




図33

保健所等無料HIV検査の検査数の推移 (K市)

HIV検査体制  
研究班

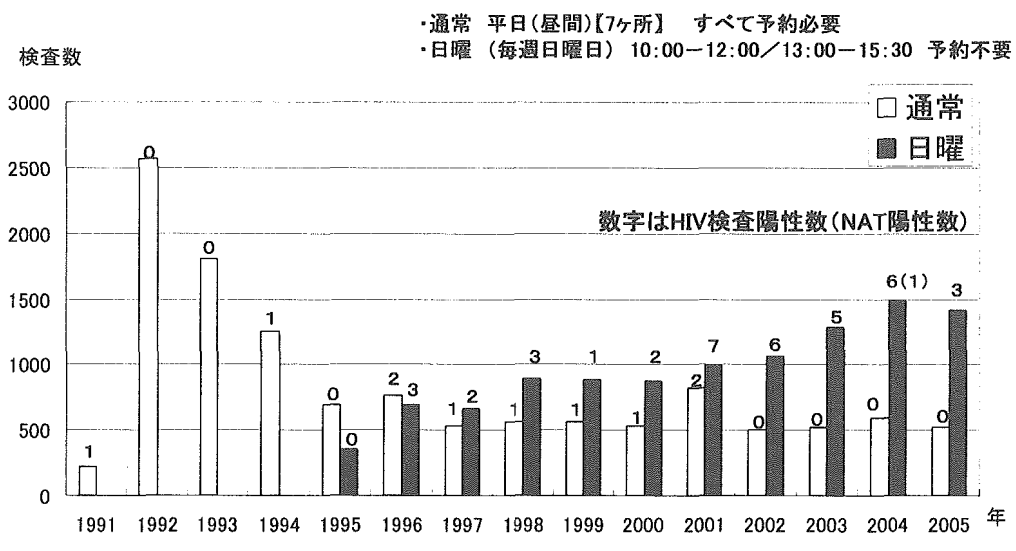


図34

迅速検査キット OraQuick の検討

HIV検査体制  
研究班

<血液検体での偽陽性率の検討>

陰性検体  
111例中

	ダイナスクリン HIV-1/2	OraQuick HIV-1/2
全血	0	0
血漿	1 (偽陽性率 0.9%)	0

OraQuick

検体: 全血・血漿  
唾液でも検査可

反応時間: 20分

<セロコンバージョンパネルAU (BBI PRB945)>

パネル No.	初回採血 からの日 数	PA法	EIA法	迅速検査キット(IC法)		
		ジェネディア HIV 1/2Mix PA 判定	アボット HIV-1/2 EIA C.OI	ダイナスクリン HIV-1/2 判定	Uni-Gold HIV-1 判定	OraQuick HIV-1/2 判定
1	0	-	0.1	-	-	-
2	3	-	0.1	-	-	-
3	7	-	0.1	-	-	-
4	13	16	2.9	-	-	-
5	15	256	>17.9	+	+/-	-
6	20	32768	>17.9	++	++	+/-

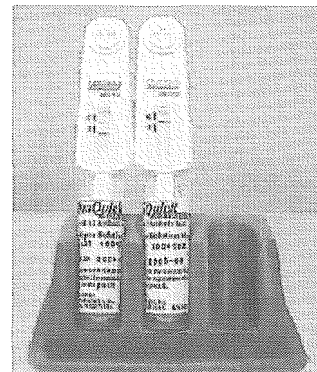
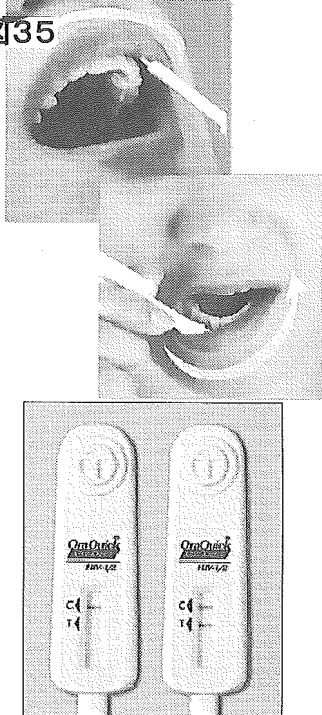


図35



HIV検査体制  
研究会

## Rapid HIV Antibody Home-Use Oral Fluid Test

(Ora Sure Technologies inc)

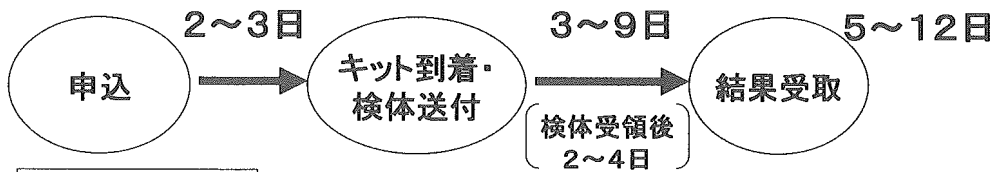
1. 上下の歯茎外周を平パッドでぬぐう
2. パッドをバイアルの底から挿入
3. 液がウィンドウまで上る
4. 20-40分以内に結果を読む

図36

## 郵送検査の実態

HIV検査体制  
研究会

- ・郵送検査受検者数(4社合計) 7700人/年
- ・郵送検査取扱開始時期 2002~2004年
- ・受検費用 3000~5000円
- ・結果受取までの期間



インターネット  
電話  
FAX  
薬局  
契約営業所

郵送  
携帯・PCへのE-mail  
ホームページ

図37

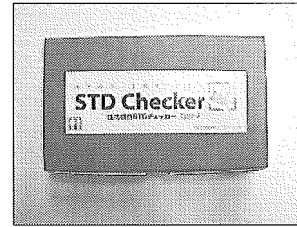
# 郵送検査4社のキットの紹介

HIV検査体制  
研究会

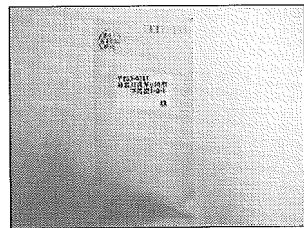
デメカル・ヘルスサポート  
(インターネット・薬店で販売)



アルバコーポレーション  
(インターネットで販売)



さくら医科研究所  
(インターネットで販売)



ひまわりクリニック  
(インターネットで販売)

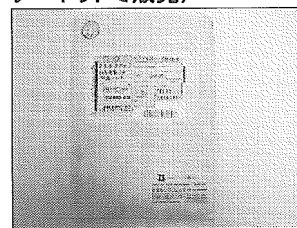
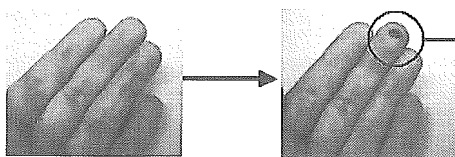


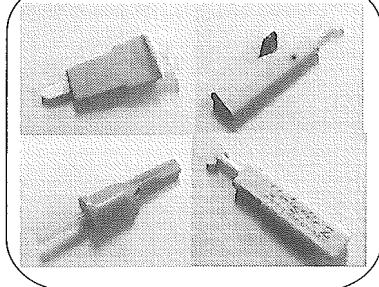
図38

# 検査検体の採取方法とその輸送方法の実際

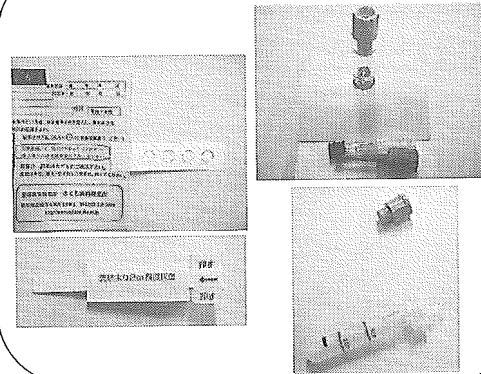
HIV検査体制  
研究会



ランセットで  
指先穿刺



ろ紙・専用採血管に血液を保存



検体を使用済器具と  
一緒に封筒に入れる

郵便・宅急便で郵送

EIA, PA, IC,  
等で検査

図39 妊婦集団における抗原抗体同時検査偽陽性率の調査

HIV検査体制  
研究班

— 保健科学研究所、産婦人科病院2施設、HIV母子感染予防研究班との共同研究 —

(研究期間：平成16年9月から平成17年8月の1年間)

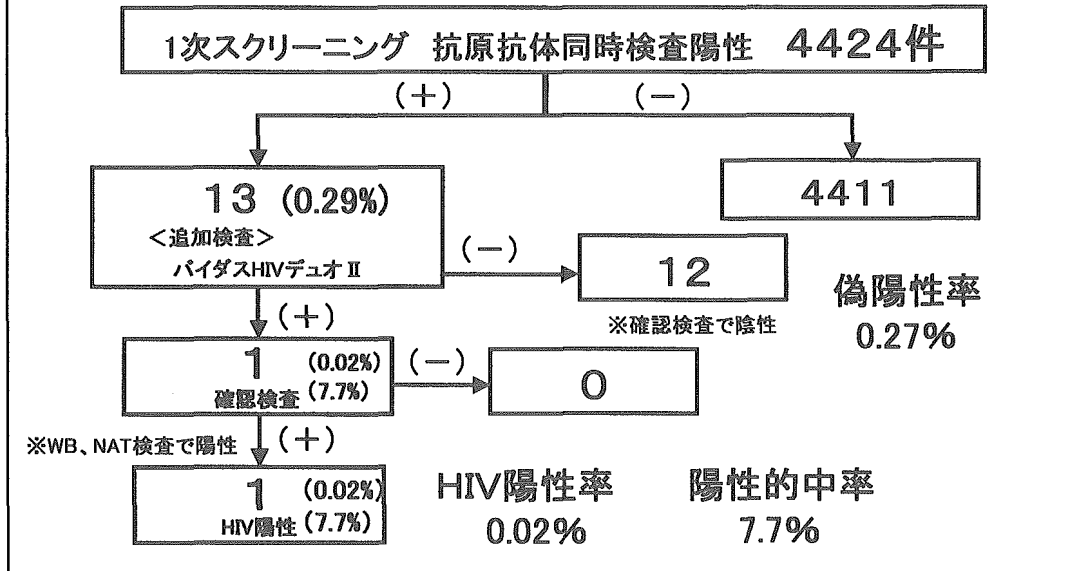


図40 1次スクリーニング陽性例でのバイダスHIVデュオIIの測定結果

HIV検査体制  
研究班

— 保健科学研究所との共同研究 —

検体：スクリーニング検査の抗原抗体同時検査で陽性となった136例

追加検査：バイダスHIVデュオII 確認検査：WB法、NAT検査

<参考 H16.9~H17.3>  
スクリーニング検査総数 73554  
スクリーニング検査陽性 268

